

【書式例 5-3】

令和3年度 指定管理者点検結果

施 設 名	玉野市児童発達支援センター
所 在 地	玉野市用吉 1 1 8 6 - 1
指 定 管 理 者	名 称 特定非営利活動法人 玉野つつじねっと 代表者 理事長 間庭 佳代子 住 所 玉野市長尾 121-3
指 定 期 間	平成30年 4月 1日 ~ 令和4年 3月31日 (4年間)
担 当 部 課	健康福祉部 福祉政策課 電 話 0863-32-5556 E-mail fukushi@city.tamano.lg.jp

評 価 内 容 の 総 括	総 合 評 価
施設管理、運営等の実施状況等、良好に指定管理が行われている。 医療ケア児についても、看護師等資格所持者を配置し積極的に対応してもらえるよう期待したい。	A

■「総合評価」の評価基準

- S (優 良) 次の3項目の評価結果が全てA以上であり、かつSが2つ以上である。
- A (良 好) 次の3項目の評価結果が全てA以上である。
- B (課題含) 次の3項目の評価結果にBが含まれている。
- C (要改善) 次の3項目の評価結果にCが含まれている。

① 業 務 の 実 施 状 況	評 価 結 果
【適切な施設管理の履行】 協定書に従い、適切に施設管理を行っている。 【法令等の遵守】 法令を順守して、利用者サービスの向上に努めている。 【安全性の確保】 職員に対して安全意識の教育を行い、環境整備にも努めている。 【財産の適切な管理】 遊具等の設備投資は必要に応じて行っている。 【利用状況】 定員は充足している。 【コスト削減への方策】 職員教育を継続的に行っている。	A
② サ ー ビ ス 向 上 へ の 取 り 組 み	評 価 結 果
様々な療育活動を等計画的に行い、外部専門機関等との研修や各会に参加し、ニーズ把握に努め、サービス向上の取り組みもできている。	A
③ 団 体 の 経 営 状 態（ 経 営 の 健 全 性 ）	評 価 結 果
収支状況は安定的である。	A

■ 「評価結果」の評価基準

- S（優 良） 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。
- A（良 好） 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。
- B（課題含） 協定書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C（要改善） 協定書等の基準が遵守されておらず、改善が必要な内容である。

<事業報告書への記載項目>

事業報告書は、次の例を参考に作成すること。なお、事業報告書はホームページ等により市民に公開しますので、各項目について、適宜図表などを作成し、分かりやすく記載すること。

I 業務の実施状況に関する事項

1 管理体制の状況

(1) 指定管理業務の実施体制図

※別紙1 参照

(2) 人員配置状況

※別紙2 参照

2 施設・設備の維持管理業務の実施状況

(1) 建物・設備の保守管理業務

- ・毎月の安全点検や常時点検で不都合が見つかった場合、業者に連絡して点検・修理などの対応をしている。
- ・空調設備については、年2回業者による点検整備を行っている。また、毎月エアコン周りの掃除をし、フィルターを洗い天日干をしている。
- ・防火設備は年2回、荘内市民センター点検時に実施する。
- ・厨房の業務用冷蔵庫と食器乾燥機は、年2回調理器具業者に点検整備を行っている。
- ・空調設備は暖房と冷房の入れ替え時期に不調を起こしやすいため、常時声掛けをしたり、注意表示をしたりして、共通理解に努めている。
- ・放課後等デイサービス通用門柵が老朽化のため、ペンキの塗り替え及び看板を改修した。
- ・放課後等デイサービス通用口網戸が老朽化のため、破損したため、取り換えた。
- ・幼児訓練室にて、扉の開け閉めに不備があったため、リフォーム業者にて改修した。
- ・幼児訓練室にて、手洗い場前の棚のビスが緩んだため、リフォーム業者にて改修した。
- ・「保護者向けの自己評価」の意見とも重なるが、中庭での戸外遊びの推進から、保護者から、遊具（いもむしくん）が寄贈された。
- ・中庭のテラスの枠の老朽化により、テラス全体をリフォーム業者にて改修した。
- ・今後は、固定遊具や中庭の安全を維持、管理していくため、安全点検表をはじめとして、子ども、職員、保護者が安全に使用できるように、共通認識を図りつつ、体力増強に努めたい。

(2) 清掃業務

- ・センター内外の美観を損なわないよう、整理整頓・清掃に努めている。
- ・毎日の掃除…療育終了後、各教室と分担場所の掃除をする。
 分担…幼児（教室・廊下・幼児用トイレ・指導訓練室⑤）
 学童（教室・ホール・大人用トイレ・障害者用トイレ）
- ・玄関マットとモップは、契約業者のリースを利用している。
- ・害虫駆除…毎月、契約業者による害虫駆除を実施している。
- ・ごみ回収…毎週火曜日と金曜日に契約業者が回収にくる。
- ・樹木の剪定・草取り…令和2年に管理範囲の見直した作業分担スケジュール「覚え書」を基に、職員・保護者・ボランティア、シルバーセンターによって、定期的に剪定や草取りをしている。
- ・トイレトペーパー・石鹸等衛生消耗品は適宜補充している。
- ・コロナ感染予防として、園内ではコロナ感染予防毎日点検表を作成し、職員、保護者にコロナ感染の理解と予防に努める。

(3) 警備業務

- ・鍵の管理を厳重にし、毎日の施錠に注意している。特に玄関は防犯のため二重ロックにしてドアホンを取り付けている。

(4) 駐車場管理業務

- ・社用車（幼児児童の送迎用）の駐車場所を示すため、コーンを置いている。
- ・特に荘内市民センターや荘内幼稚園の行事があるときは、事前に職員や保護者の駐車スペース確保のため、コーンやロープで準備している。
- ・駐車場の草取りは荘内幼稚園と草取り分担で行っている。（センターは8月と3月）

3 利用等の許可の状況

- ・国の定めに基づき、障害福祉サービス受給者証による個別契約を行っている。
 契約後、玉野市に報告している。

Ⅱ 施設の利用状況に関する事項

1 施設・設備の利用状況

- ・利用許可の総件数、各施設・設備ごとの利用許可（不許可）件数

※毎月のセンター利用状況については、月次報告『利用実績』『実施状況』を参照

Ⅲ 自主企画事業の実施に関する事項（協定書に追加した事項等）

1 イベント名，内容，参加者数，収支状況 等

①「玉野市児童発達支援センター」（幼児）の行事

月 日	イベント名	内 容	参加者数	備 考
4/ 3（土）	入園式	入園式	幼児・保護者：11名	（園児6名）
4/15（木）	避難訓練	厨房出火想定	幼児・職員：30名	
4/27（金）	健康診断①	第一回目健康診断	幼児 20名	のうの小児科来所
5/17～28	プラン懇談	プラン・懇談	保護者：21名	
5/14（金）	避難訓練	厨房出火想定	幼児・職員 31名	
5/25（火）	内科検診	のうの小児科医来所	幼児 21名	のうの小児科来所
6/15.16	検尿	岡山健康づくり財団	幼児：20名	
6/14（月）	歯科健診	玉野市宇野谷歯科医来所	幼児：20名	
6/17（木）	避難訓練	職員室出火想定	幼児：31名	
6/22（火）	内科検診		幼児：16名	のうの小児科来所
6/30（水）	就学勉強会	就学に関する勉強会（保護者会）	保護者 10名	
7/7（土）	七夕の集い		幼児：21名	
7/12（月）～ 7/16（金）	療育参観日	保護者参観日 ペアレントトレーニング	幼児 保護者：通算21名	
7/17（土）	総合避難訓練	職員室出火想定	幼児・職員：35名	
7/30（金）	内科検診		幼児：18名	のうの小児科来所
7/20～8/20	プール療育	プール療育（水遊び）	幼児：22名	
8/24（水）	地震避難訓練	地震後厨房出火	幼児・職員：28名	
8/31（火）	洪水避難訓練		幼児・職員：29名	
8/27（金）	内科検診		保護者：21名	のうの小児科来所
9/27（月）	おでかけ①	ぱんだ組 荘内小前の公園	幼児・職員：13名	
9/28（火）	おでかけ①	こあら組	幼児・職員：16名	
9/14（火）	避難訓練	職員室出火想定	幼児・職員：28名	
9/28（火）	内科検診		幼児：19名	のうの小児科来所
10/16（土）	運動会	荘内小体育館に於いて	幼児：21名・ 保護者：42名	
10/29（水）	避難訓練	厨房出火想定	幼児・職員：34名	
10/18（月）	不審者対応訓練		幼児・職員：34名	
10/22（金）	芋ほり	裏庭のさつまいも畑	幼児：19名	
10/26（火）	内科検診	第二回目健康診断	幼児：21名	のうの小児科来所
10/29（金）	避難訓練	消火栓の使用	職員：3名	荘内市民センター

月 日	イベント名	内容	参加人数	備 考
10/28 (木)	ハロウィン		幼児： 21 名	
11/2 (月)	焼芋パ～ティー	センター外構	幼児： 18 名	
11/ 5 (金)	保護者会勉強会	サポートブックづくり	保護者： 12 名	
11/12 (金)	おでかけ⑥	こあら組 マリン水族館	幼児・職員： 16 名	
11/5 (金)	おでかけ⑥	ぱんだ組 マリン水族館	幼児・職員： 名	
11/26 ((木))	ミニコンサート	ミニコンサート (研修室)	幼児： 21 名	ボランティア：5名
11/16 (水) ～ /18(金)	給食参観	自由参観	保護者延： 24 名	
11/24 (水)	避難訓練	職員室火災発生想定	幼児・職員： 30 名	
12/14(土)	避難訓練	給食室火災発生想定	幼児・職員： 28 名	
12/15 (水)	ほっこり コンサート	クリスマス会(ホール)	幼児 21 名 保護者 16 名	ボランティア：6名
12/23 (木)	クリスマス コンサート		幼児 21 名	ボランティア：5名
12/24 (金)	内科検診		幼児 19 名	のうの小児科来所
1/12 (水)	クッキング	お好み焼き	幼児 19 名	
1/15 (土)	避難訓練	火災発生想定	幼児・職員： 33 名	
1/27(木)	内科検診		幼児・保護者 25 名	
2/3 (月)	節分	豆まき	幼児： 20 名	
2/6 (土)	入園説明会	入園説明会 (大会議室)	幼児・職員： 18 名	園長・責任者
2/18 (金)	避難訓練	ボイラー室出火想定	幼児・職員： 27 名	
2/19 (土)	生活発表会	2 部制	幼児 21 名 保護者 21 名	
2/25 (金)	内科検診		幼児： 19 名	のうの小児科来所
3/1 (火)	ひな祭り会	ひな祭り会 (ホール)	幼児： 20 名	
3/10 (火)	火災総合訓練	消防署職員立ち合い	幼児・職員： 24 名	
3/12 (土)	入園説明会	新入園児保護者説明会 2 部制	幼児・保護者： 12 名	園長・責任者
3/15 (火)	おでかけ⑦	こあら組	幼児・職員： 16 名	
3/23 ((水)	おでかけ⑧	ぱんだ組	幼児・職員： 13 名	
3/22 (火)	内科検診		幼児： 20 名	のうの小児科来所
3/26 (上)	卒園・退園式	卒園・退園式	幼児・保護者：28 名	

②「玉野市児童発達支援センター」(学童)の行事

月日	イベント名	内容	参加者数
4/26(月)	療育開始日	R3年度療育開始日	児童：8名
4/24(土)～ 4/30(金)	プラン懇談(4・10月誕生月)	評価・プランの説明	保護者：7名
5/12(水)	避難訓練	厨房出火想定	児童・職員：7名
5/22～5/28	プラン懇談(5・11月誕生月)	評価・プランの説明	保護者：6名
6/24(木)	避難訓練	職員室出火想定	児童・職員：7名
6/12～6/19	プラン懇談(じゃんぷ移行児)	評価・プランの説明	保護者：21名
6/28～6/29	プラン懇談(6・12月誕生月)	評価・プランの説明	保護者：4名
7/16(金)	避難訓練	職員室出火想定	児童・職員：11名
7/26～7/31	プラン懇談(7・1月誕生月)	評価・プランの説明	保護者：15名
7/26～7/31	制作活動	ぷよぷよボール作り	児童：延べ55名
8/7(土)	勉強会	保護者向け(進学に向けて)	保護者：10名
8/2～8/7	水遊び	水鉄砲	児童：延べ50名
8/16～8/28	制作活動	プラ板キーホルダー	児童：延べ50名
8/21(土)	避難訓練	地震想定	児童・職員：8名
8/23～8/28	プラン懇談(8・2月誕生月)	評価・プランの説明	保護者：5名
9/27(月)	避難訓練	厨房出火想定	児童・職員：11名
9/24～9/30	プラン懇談(9・3月誕生月)	評価・プランの説明	保護者：5名
10/9(土)	避難訓練	厨房出火想定	児童・職員：10名
10/16～10/29	買い物活動	キャンドゥ(100均)	児童：延べ50名
10/23～10/29	プラン懇談(10・4月誕生月)	評価・プランの説明	保護者：14名
11/19(土)	避難訓練	職員室出火想定	児童・職員：9名
11/24～11/30	プラン懇談(11・5月誕生月)	評価・プランの説明	保護者：8名
12/16(木)	避難訓練	厨房出火想定	児童・職員：5名
12/20～12/25	プラン懇談(12・6月誕生月)	評価・プランの説明	保護者：12名
1/19(水)	避難訓練	厨房出火想定	児童・職員：9名
1/25～1/31	プラン懇談(1・7月誕生月)	評価・プランの説明	保護者：13名
2/15(火)	避難訓練	地震想定	児童・職員：9名
2/24(月)	プラン懇談(2・8月誕生月)	評価・プランの説明	保護者：1名
3/7(月)	避難訓練	職員室出火想定	児童・職員：8名
3/22～3/28	プラン懇談(3・9月誕生月) (契約終了者)	評価・プランの説明	保護者：27名
3/26(土)	療育最終日	R3年度療育最終日	児童：8名

Ⅳ 料金収入の実績及び管理経費等の収支状況等

1 利用料金の収入及び減免の状況

- (1) 利用料金の収入総額, 各施設, 設備ごとの収入額 等 ※非該当
(2) 減免の総額, 各施設・設備ごとの内訳, 減免理由 等 ※非該当

2 管理に係る収支の状況

令和3年度は初めての赤字決算となっている。

その原因としては以下のことがあげられる。

・収入面では、全体的な稼働率の低下

(前年度比：児童発達支援 0.95%、放課後等デイサービス 84%、保育所訪問支援 0%、相談支援 70%)

特に放課後等デイサービスの定員増(10→15人)による報酬単価減は大きい。

その他の要因として、コロナの影響も多少ある。

また、働きやすい環境づくりの一環として、年間の稼働日を減少させたこと等も収入減に繋がっている。

・支出面では、年間を通して、最終年度ということもあり、賞与等の人件費を増加させたことが大きく、さらに事業の引き継ぎにあたり、環境を見渡し、例年以上に備品の大規模修繕及び購入等による支出が増加している。

※このような結果は、この度の特別な状況下にあったためで、通常の結果とは違うので、次年度に影響を及ぼすものではないと思われる。

※別紙3参照

Ⅴ 自己点検結果

自己点検の方法, 結果, 改善方法 等

- ・安全点検表で危険箇所等について、随時点検や毎月の定期確認を実施した。
- ・職員による整備改善、または業者による修理を実施した。

Ⅵ 経費節減・サービス向上に関する取組み

荘内市民センターから配布された「経費節減のお願いについて」という文書を全員で確認し、省エネに努めた。

- ・電気代…毎月使用料・金額などを確認し、照明・エアコンの不要な場合は、こまめに消灯したり、張り紙をしたりして全員の関心を高め、省エネに努めた。
- ・水道代…毎月使用料・金額などを確認し、プール使用時期には、注水時、水道の閉め忘れについて注意喚起し、省エネに努めた。

VII その他

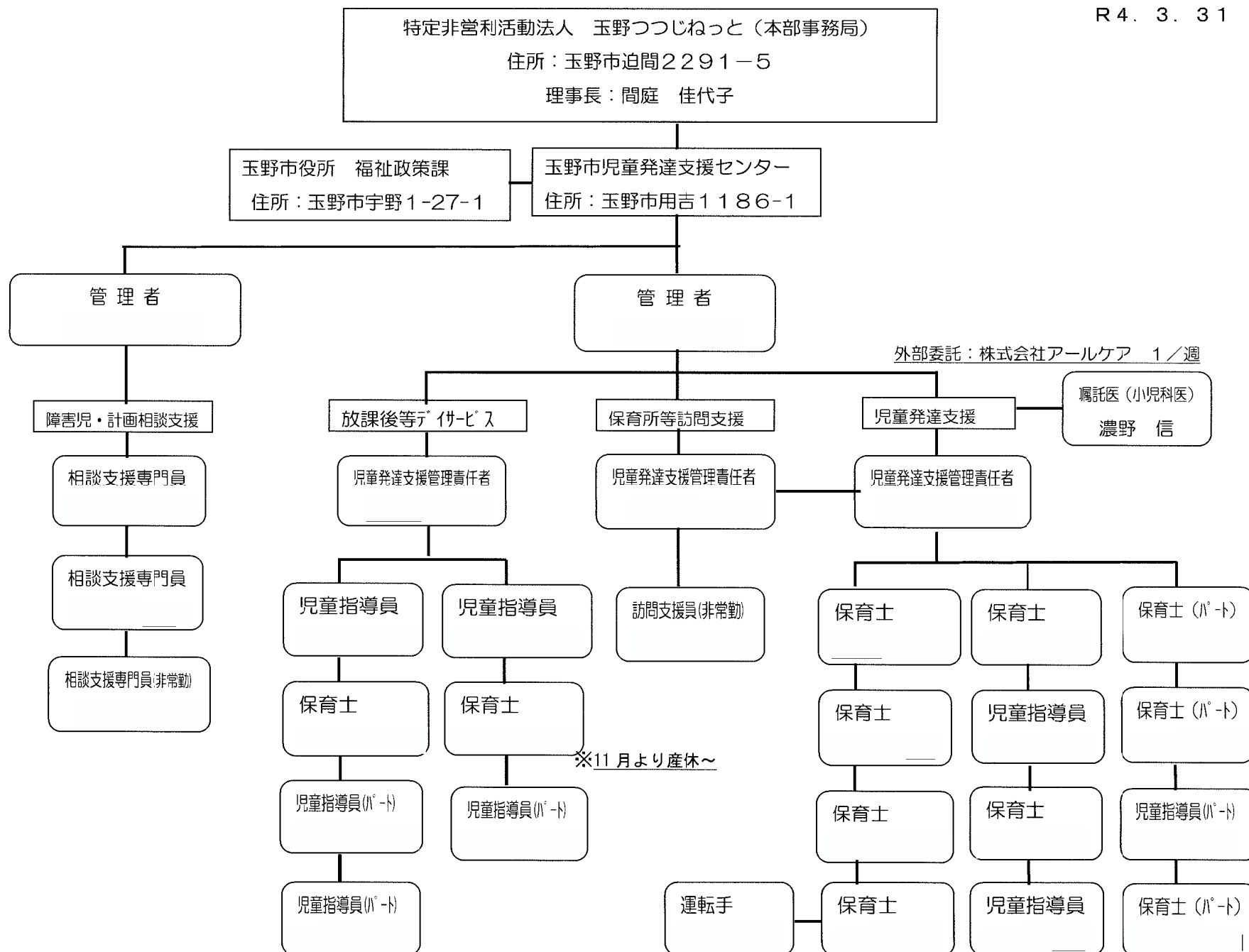
1. 各種マニュアルの見直し
(新型コロナウイルス・身体拘束・苦情解決・虐待防止・送迎バス)
(非常災害対策計画・避難確報計画)
2. 防災に関する体制整備…『防災計画』・『東南海・南海地震防災規程送付書』の作成
3. 「保護者へのお知らせ」「職員へのお知らせ」について見直しを図り『警報発令・自然災害対策について』配付した
4. 個人情報管理
 - ・幼児児童の個人情報に関するファイル・USB等は、鍵のかかる専用ロッカーに保管している。
 - ・個人のプライバシーに関する文書等の作成は、原則としてセンター内で行い、センター外に持ち出しをしない。
 - ・個人情報を他の目的で使用したり、他の目的のために個人情報を収集したりしていない。
- 5 利用者のニーズや要望を把握したり、センターでの取り組みを理解していただいたりするために、以下のことを実施している。
 - ・家庭訪問・プラン懇談・参観日・親子療育・勉強会
 - ・新入園児保護者説明会
 - ・年間行事について保護者にアンケートをとり、考察をまとめて配布している。
 - ・担任による毎日の連絡帳や送迎時保護者との話
 - ・保護者会・役員会・おやじの会における情報交換・交流活動

VIII 特記として

センターの開所以来、設備の老朽化による修繕個所が目立っている。

※別紙4 参照 (『設備・備品等の修繕・修理 (センターにて処置)』)

- ・室外機については、今後もその他の故障個所が発見されることは予想されるので、事実が確認できた時には、その都度報告・相談するので対処して頂きたい。
- ・施設入口の自動ドアのセンサーの感知が鈍くなってきた。故障が発生した場合は、利用者の安全上、その都度報告・相談するので対処して頂きたい。



令和3年度 業務分担表

玉野市児童発達支援センター

業 務	内 容	担 当 者	備 考
各種会議	サービス会議		
	職員会議(幼児・放デイ)	全員(幼児・放デイ)	
労務管理	勤務表・出勤簿・休暇届・残業申請書		
職場研修	研修担当		
見学・受入れ	利用児・校園職員・関連機関等見学・受入れ		
苦情処理	苦情処理・ヒヤリハット報告・事故報告		
庶務	職員募集(ハローワーク・「福祉のお仕事」事業所マイページ)		
	事務手続き(採用・退職・福利厚生・証明等)		
	情報管理(文書・パソコン)・諸帳簿管理		
	車両管理		
会計	請求業務		
	利用料集金		
	小口現金		
施設管理	施設修繕		
	環境整備・修繕・清掃		
備品管理	備品一覧表・備品購入		
防災管理	消防計画・安全点検		
	避難訓練(火災・地震・不審者)		
健康・衛生管理	健康管理・健康診断等・害虫駆除・		
	感染症対策		
	ごみ収集・マットモップ交換		
給食	給食会議・献立表作成・食物アレルギー等チェック		
親睦会	親睦会名簿・会計		
渉外	関連機関 ・玉野市役所(福祉政策課・就学前教育課) ・玉野市教育委員会 ・支援学校・小中学校・幼稚園保育園関係 ・玉野市障害者総合支援協議会 ・岡山県社会福祉協議会・岡山県知的障害者福祉協会 ・中四国幼児通園施設長連絡協議会 ・その他関連機関等		
保護者会	保護者会・役員会・おやじの会・OB会		

日常療育	週番・清掃・片付け・業務日誌・管理確認簿	各職員	
日常療育	プラン・懇談・(家庭訪問)・個人記録・連絡帳 各種検査・ことばの教室・	各職員	
おたより	園だより・各種通信	各職員	
就学相談	就学相談・退園相談		
行事計画・運営	年間行事計画表		
	入園式 4/3(土) 卒園・退園式 3/26(土) 第1回入園説明会2/6(土) 第2回入園説明会3/13(土)		
	親子遠足 5/13(木)		
	療育参観日 6/19(土)	各職員	
	夏祭り週間・七夕まつり 7/7(水)		
	芋ほり・焼き芋		
	プール 7/13～8/20		
	運動会 10/16(土)		
	クリスマス会 12/16(木) ミニコンサート 11/25(木)		
	クッキング 1/13(木)		
	発表会 2/19(土)		
	ハロウィン・豆まき・ひな祭り		
	水鉄砲遊び(7/26～7/31)夏休み		
	ぷよぷよボール制作(8/2～8/7)夏休み		
	プラ板・ラミネートカードづくり(8/16～8/21)夏休み		
	買い物活動(10/9～10/29)		
	保護者座談会(2月頃)		
	進学についての勉強会(じゃんぷ 7月頃)		
保育所等訪問	保・幼・小・中訪問・校園と情報共有		

料金収入の実績及び管理経費等の収支状況等（年間分）

1 管理に関する収支の状況

(1) 収入

項 目	金 額	備 考（内訳など）
児童発達支援	65,679,145	4～3月分報酬（福祉介護職員処遇改善加算含む）
放課後等デイサービス	18,478,666	//
保育所等訪問支援	0	//
障害児相談支援	12,310,070	
日中一時支援	4,974,630	4～3月分報酬
給食等提供料	2,052,700	
	0	
収 入 合 計	103,495,211	

(2) 支出

項 目	金 額	備 考（内訳など）
給料手当	76,919,459	従業員給料
福利厚生費	2,452,080	
法定福利費	6,128,450	社会保険料
給食費	9,250,718	食材費及び委託料
保育材料費	904,679	画用紙など
日用品費	522,329	洗剤などの日用品
消耗品費	2,924,687	遊具・日用品費以外の消耗品及び食器・配膳用品
修繕費	4,130,683	施設改修・点検費用
水道光熱費	1,625,814	
通信・交通費	820,723	
リース料	2,138,164	
図書・研修費	442,128	
車両燃料費	646,206	
その他雑費	2,917,925	
	0	
支 出 合 計	111,824,045	

差 引

-8,328,834

R3年度 設備・備品等の修繕・修理

黒字…市役所処理 赤字…センター処理

緑字…その他処理 青字…未処理

月	問 題	処 理			
		場所	処理日	金額	内 容
4	空調設備点検(冷暖房の切り替え)	センター	4/14	36,300	空調設備点検(冷暖房の切り替え) (株式会社日建)
4	空調設備点検(冷暖房の切り替え)	センター	4/14	36,300	空調設備点検(冷暖房の切り替え) (株式会社日建)
4	児童発達支援センター外構、草抜き	センター外構	5/19	53,460	シルバーセンターにて、児童発達支援センター外構、草抜きを依頼する
11	厨房蛇口パイプ交換	センター	5/28	7,700	有限会社ハチスイにて厨房立水栓スパウト、パッキン交換(3か所)の修繕した。
9	除草作業	センター外構	9/14	35,180	シルバー人材センター
10	幼児療育室の入口の引き戸	センター	10/9	24,200	下電スマイルにてリフォーム工事
11	放課後等デイサービス通用門柵が老朽化のため、ペンキの塗り替え及び看板設置	センター	11/17	44,000	古川塗装 イカリ看板
12	女子トイレ及び手洗い場詰まり	センター	12/17	13,200	有限会社ハチスイにて詰まり抜きの修繕した。
12	給食室の食器保管庫のドアが老朽化のため閉まりにくくなったため、新品と取り換える。	センター	12/14	93,500	総合厨機株式会社に製品と取り付けを依頼した
1	多目的室(勉強の部屋)の電灯がつかなくなった	センター	1/19	77,000	藤川電機で、改修工事
3	テラスデッキ他改修	センター	3/14	2,057,000	下電スマイルにてリフォーム工事

合計		2,477,840			

令和3年度 指定管理者自己点検結果

点 検 日	令和 4年 5月31日 (9回目)
施 設 名	玉野市児童発達支援センター
所 在 地	玉野市長尾 121-1
指 定 管 理 者	名 称 特定非営利活動法人 玉野つつじねっと 代表者 理事長 間庭 佳代子 住 所 玉野市長尾121-3
指 定 期 間	平成25年 4月 1日 ~ 令和4年 3月31日 (9年間)
担 当	玉野市児童発達支援センター 電 話 0863-71-0600 E-mail tamano-c@apricot.ocn.ne.jp

評価内容の総括	総合評価
○玉野市児童発達支援センター9年目を終え、市内における児童発達支援の拠点として、療育面とともに障害児相談支援も軌道に乗り、市内の教育、福祉関係者はもとより、地域住民、一般市民市外の教育、医療関係者にも、当センターの役割や認知度が高まってきたと実感している。 ○要観察児教室「にじいろ教室」、一般の「児童発達支援事業所」との連動から、早期の療育体制の発達支援の認識は高まった。一方で、地域外の通園型事業の利用は、家族にとっては、心理的利便性からいっても壁が高い部分もある。障害児や家族にとって「児童発達支援センター」の利用が、将来に向けて、最善の利益となるよう、地域における中核的役割を果たすことが期待や、役割が明確とはいえない。障害児に関わるすべての関係者と一般の「児童発達支援事業所」との役割分担が明確になるような連携方法を構築する必要がある。 ○小学校進学はもとより、保育園、幼稚園からの移行入所、逆に移行退所についても、移行前、移行後も、子どもが活動している姿を見に行ったり、保護者・移行先と意見交換する場を持ったりして、保護者の不安や、支援に切れ間が生じないような連携と、移行の目安になる記入に役立つように整理した。 ○特に、肢体不自由児、重症心身障害児の移行について、児童の発達に合わせた移行を前提に、保護者の心情や、児童のおかれた状況等理解しながら、進学先の小学校に同行し、授業を見学したりして、進学、移行先の教師と意見交換をした。 ○義務教育期における支援体制については、今年度は当センターの放課後等サービス職員の職員配置不足により、受け入れが難しくなり、相談支援事業の働きかけにより、他の事業所への移行に努め、一応の整備ができた。その間、利用者によくの不安や不便を与えた。このことについて今後は障害児支援の拠点と自覚をも	A

ち、職員採用、育成、配置に努めたい。 ○「第三評価」等の意見より ・「戸外遊びの時間を増やしてほしい」についての環境設定の面から、内庭の固定遊具の増加とデッキテラスの改修工事も済ませ、より一層の屋外活動の充実を図れた。 ・「地域幼児と繋がってほしい」という保護者の心情に受容し、市内の保育園、幼稚園に訪問型交流会を予定したが、新型コロナ感染予防のため、中止となった。引き続き、多面的に地域幼児との連携を図りたい。 ○療育の質の向上に向けては、コンサルテーションを受け、様々な発達段階の利用児の支援方法を学んだり、他の専門機関（医療）と連携し、年間を通してテーマに沿った合同勉強会を実施したりしながら、職員の力量アップを図っている。 ○また、安全衛生、個人情報の管理等のしくみをつくり、また虐待防止の観点からも、職員に必要とする研修を行いながら一年間運営してきた。 ○行事や療育活動の中に、様々なボランティア（絵本・コンサート・清掃など）、玉野市栄養改善委員会による「親子食育教室」等、3年度は、日程調整、参加人数、コロナ感染予防環境の調整により、実施できた。次年度も計画にいれ、地域との連携、協力を広げていく。 ○幼児では、令和4年3月28日にコロナ感染者が発生し、園児7名、職員4名合計11名のクラスター感染となる。3月30日、施設内での発生は終息したが、家族感染はあった。このことから、感染予防のコロナ日常チェック表にて、具体的な予防項目を増やし、より感染予防に努めたい。 ○令和4年度から、「社会福祉法人 四ツ葉会」が指定管理者になる。 ・利用者は、管理者変更について、文書と説明会開催と文書で行われた。この事について、利用者は「療育方法の継承と職員配置の継続されるのであれば」と不安を抱くご家庭はなかった。 ・職員については、「四ツ葉会」から8月から文書、説明会、個人懇談をして、法人変更の準備やスケジュールを丁寧により、移行への不安は生じなかったが、次年度以降、不安等が生じない様に、些細な事で、説明責任とケアを務めたい。 ○体制が次年度以降、新たな5年間の1年目として、また新たな目標をもって玉野市の児童福祉の拠点としての役割を果たしていきたい。	
---	--

■「総合評価」の評価基準

- S（優良） 次の3項目の評価結果が全てA以上であり、かつSが2つ以上である。
- A（良好） 次の3項目の評価結果が全てA以上である。
- B（課題含） 次の3項目の評価結果にBが含まれている。
- C（要改善） 次の3項目の評価結果にCが含まれている。

① 業務の実施状況	評価結果
【適切な施設管理の履行】 協定書に従い、適切に施設管理を行った。 【法令等の遵守】 法令（児童福祉法、最低基準）を順守して、利用者サービスの向上に努めた。 【安全性の確保】 職員に対しては、従来の安全意識に加え、コロナ感染予防対策の教育も行い、環境整備にも努めた。 【財産の適切な管理】 備品は大切に利用し、遊具等の設備投資は必要に応じて行った。 【利用状況】 ○放課後等デイサービスの職員配置不足により、受け入れが難しくなり、利用者待機に状態になったが、相談支援事業の働きかけにより、他の事業所への移行に努め、「待機児童」は解消した。 ○幼児の定員は充足し、地域のニーズには十分に対応できた。またコロナ感染対策について、利用者の理解と協力のもと、安定した開所と出席を保てた。 【コスト削減への方策】 職員教育は継続的に行った。	A
② サービス向上への取り組み	評価結果
・開園 9 年目となり、センター内外の環境面も整い、療育活動の幅が広がりを見せている。季節の行事、地域との繋がりにおいても、障害児に特化せず「子ども期を子どもらしく過ごせる」ための方法を計画的に取り組めた。 ・地域との連携について、消防署、警察署の安全指導の中に、園児と触れ合う機会もあり、感想として、「想像より、よく話を聞き、誘導もスムーズだった」と、障害児についての理解を深める機会になった。 ・療育に関しては、外部講師によるコンサルテーションを受ける職場内研修と、Web 研修、外部専門機関との合同勉強会に積極的に参加し、様々な個別支援の方法や内容についても研修し、個々の子どもの発達及び障害の状況に応じた支援につなげている。 ○障害児以外の幼児から幼児期から中学生までの児童の保護者による悩み（グレーゾーン）の電話、来所による相談がある。保護者自身の、現在の心境と、今後の見通しを、共に整理し、発達支援の入口としての役割と、関係機関への連携する役割をしている。一方で、支援、連携に終わらず、市内の障害児支援の専門性を高めるため、多様な専門職の配置に努めたい。	A

○進級、進学について毎年「先輩の経験談を聞く会」を開催している。目的は、ピアサポート。参加者の感想として「先輩たちの進学への不安を、進学時の悩み、今の悩みを聞いたり、相談したりすることで、他の親の中に自分と共有する感情を見出し、そうした共有の感情を得て、次の一歩へ進めた」等の感想がある。心の中を語れる安心な場所や仲間、援助者との出会いについて今後も発展する必要がある。 ○センター保護者会についてはアンケート等により、保護者のニーズの把握に努め、内容、方法の見直しなど活発である。その中でも、保護者向けの勉強会は、保護者会役員による、方法の改善により、参加人数が増え、内容も充実した。 ○おやじの会への参加者が固定され始めたので、活動内容や啓発の仕方について見直しをした結果、参加人数が増え、次回の期待の声が聞こえた。 ○療育参観日、自由参観日の他、季節行事への保護者参加も実施して、家族と共に子育てを楽しめるような「子育て支援」としての役割も担えるように努力した。 ○三障害の児童の受け入れに関して、物理的、人的配慮のもと、積極的に実施している。肢体不自由児、重症心身障害児の支援について、「医療」との連携を図るよう、理学療法士・作業療法士との合同勉強会を実施と、派遣業務委託として作業療法士を、週一回、指導を受ける。今後は障害児支援の拠点として、専門性を高めるため、多様な専門職の配置に努めたい。 ○保育園等の移行を想定した発達評価や移行先との連携、体制づくりへの協力を行っている。 ○今後も多様な障害のある利用児の保護者に寄り添い、さまざまなニーズに対応しながらサービス向上に努めていきたい。	
③ 団 体 の 経 営 状 態 （ 経 営 の 健 全 性 ）	評 価 結 果
・コロナ感染の予防の取組と説明により、安心して登園が見られた。1名の自粛欠席（家族の感染予防）があったが、医療機関への通院治療・検査の必要な利用児がいる中で、出席は安定していた。	A

■「評価結果」の評価基準

- S（優 良） 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。
- A（良 好） 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。
- B（課題含） 協定書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C（要改善） 協定書等の基準が遵守されておらず、改善が必要な内容である。